

カンボジアの教員養成大学の教官が奈良教育大学で 日本の教育システムを学ぶ研修に参加

国際協力機構（JICA）は、9月12日に来日し、国立大学法人奈良国立大学機構奈良教育大学において実施していたシラバス・教材・指導案を開発することを目的とした研修に参加していたカンボジアの教員養成大学（Teacher Education College）の教官17名に、9月30日に修了証を授与しました。

コロナ禍ではオンライン研修を行ってきましたが、2019年以来3年ぶりの来日研修を行い、理科、算数・数学、ICT、教育学、教育心理学、教育研究の教官が研修を受講しました。

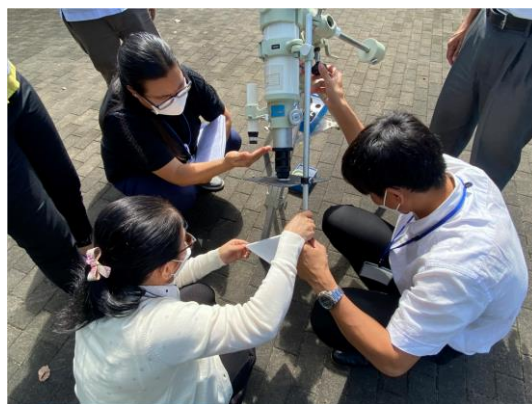
JICAは2017年から6年にわたりカンボジアで実施している技術協力プロジェクト「教員養成大学設立のための基盤構築プロジェクト」の一環として、数回にわたり奈良教育大学で研修員を受け入れてきました。

約20年カンボジアの教育支援を行い、研修を中心になって進めてきた奈良教育大学の森本弘一教授によると、「理科教育の研修で難しかったのは、授業記録の取り方など、カンボジアの研修員にとっては経験のない取り組みを実践できるようにすることだった。電源が少ない中、どのように理科実験を行うことができるかなども考えながら指導してきた。6年間の研修を経て、当初は手取り足取り支援していた理科実験も、教官自らが実施できるまでになっている。」と、研修の成果を実感しています。

今回参加した研修員の一人でICT教官であるフン・ラビさんは、「カンボジアに戻ってから、日本で学んだことを元に、各教科の教官と協力しながらICTを授業に活用できるよう教材の開発に取り組んでいきたい。」と話していました。

研修員は10月1日にカンボジアに帰国しますが、日本で学んだ内容を元に教官として現地の将来教員になる学生に指導を行ない、カンボジアの教育システムの改善に向けて取り組んでいきます。

奈良教育大学の関係者によると、研修は終了するが、これまでの研修で構築された関係性を踏まえて交流を継続し、将来的には共同研究を行なうことも期待しているとのこと。



地学実験の方法について研修を受ける、カンボジアからの研修員。

本件に関する 問い合わせ先	JICA 関西センター 研修業務課 藤井 TEL 080-7200-4814、 e-mail : Fujii.Natsuko@jica.go.jp
------------------	--

※取材を希望される場合は、必ず事前に上記問い合わせ先までご一報ください。研修事後ですが、奈良教育大学の先生や帰国した研修員が取材に応じることも可能です。